



THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

2024~2025

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 棚橋 顯 幹事 中井 規博
 広報・雑誌・会報委員長 芹澤 謙一

THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック R.I. 会長 ステファニー A. アーチック



第 2729 回例会 No.21

2025年(令和7年)1月31日(金) 晴
「セイリング -幸せになるために-」

出席報告

会員 62名中 45名 出席率 72.58%
 ○スピーカー 愛知産業大学経営学部 学部長
 総合経営学科 教授 石橋 豊様
 ○ビジター 名古屋名南ロータリークラブ

大橋 さなえさん

会長 棚橋 顯さん

会長挨拶

2024-25年度 10回ロータリーテーマ



皆様こんにちは。先週の例会にビジターで出席されたディビット・ユーゼさんと名刺交換された方にはお礼のメールが届いたかと思いますが、来週2月7日の例会にまた出席されます。そして会員と割り勘で

飲み会をしたいと希望されていますので、我こそはという方は事務局までお申し出ください。

松坂屋名古屋店の屋上遊園が3月2日にリニューアルオープンすることが28日に発表されました。そのニュース映像をご覧ください。

期待 松坂屋 屋上遊園3月にリニューアル

レトロ遊具は残しつつ... News

「屋上遊園」のイメージ画像



リニューアル前に人気だったレトロな遊具 60点は残しつつ、新たな遊具 10点を追加。子供たちの自由で直感的な遊びを引き出すという遊具に、まるでオブジェのようなパネルアスレチック。体力測定をモチーフにしたスポットも。身長測定や上体起こしができる遊具で、子供も大人も競いあったり、記録を測定しあったりするなどコミュニケーションを促す空間となっています。

今回のリニューアルでは「地域共創」をテーマに、「家族の学びと成長」を感じることができる場所づくりを心掛け、『未来は、あそびの中に。』をスローガンに掲げ、幼児向けあそび環境づくりをする株式会社ジャクエツがデザイン遊具を制作し、屋上空間をデザインしています。松坂屋は、「全国的にも希少な百貨店の屋上遊園という文化的価値を継承しながら、現代的な空間を創り上げることで、これからも地域

の皆様の生活の一部となる場所を目指してまいります」とコメントしています。

私の母の実家は、昔は伊勢町という町名で現在は栄3丁目になっている場所で「知多屋酒店」という商号で酒とタバコと食料品を販売しておりました。今もプリンセスガーデンホテルの並びの同じ場所で「スピリッツ」という店舗名に代わってはいますが、世界のタバコと酒の販売をしております。本当に松坂屋のすぐ近くですから子供の頃はお店に行くたびに祖父と祖母に連れて行ってもらっていた記憶があります。東京ディズニーランドもユニバーサルスタジオもない時代のことですから、写っている写真を見るとなんだかよそ行きの服を着ているので、少し高級な場所だったような気がします。

松坂屋の屋上遊園は1910年(明治43年)に栄町に開店したデパート「いとウ呉服店」の屋上遊園に子供用ブランコが設置されたことがはじまりで、1925年(大正14年)に新しい商号「松坂屋」として現地に移転・開店して以降、様々な形を変えながらこの場所で100年の歴史を刻んできています。この歴史ある全国的に希少な場所が地域の皆様の生活の一部となり、愛され続けて存続していくといいですね。リニューアルオープン後にはぜひ一度訪れてみてください。

ニコBOX

(石橋豊様本日の卓話よろしくお願ひいたします。大橋さなえさんようこそいらっしゃいました) 棚橋会長
(石橋さん、本日の卓話よろしくお願ひします。大橋さんようこそお越し頂きました) 中井幹事
(仕事のため早退します) 猪子さん

本日合計	10,000円
累計	1,486,110円

幹事報告

中井 規博さん

【配布物】

- ・ロータリーの友 2月号
- ・抜萃のつづり

【その他】

・2025年2月20日(木)開催のI.M.のチラシはご用意されないため、当日配布されますプログラムの抜粋データを昨日事務局よりメール配信しました。ご確認をお願いいたします。

卓話

「多感覚 ICT で高齢者が活躍できる

エイジフリー社会を目指して」

愛知産業大学経営学部 学部長
総合経営学科 教授石橋 豊様



日本では、団塊の世代が2025年に75歳以上となる「2025年問題」により、高齢者の医療・介護需要が急増することが懸念されています。高齢者が健康で自立した生活を送るためには、健康状態と要介護状態

の間位置する「フレイル」(心身機能脆弱状態)の早期発見、予防、回復支援が不可欠です。本卓話では、多感覚 ICT 技術を活用してフレイル対策を実現するプロジェクト(知の拠点あいち重点研究プロジェクト「多感覚 ICT を用いたフレイル予防・回復支援システムの研究開発」)を紹介しました。プロジェクトでは、顔画像から瞬きや表情を解析する集中度判定システムや、高齢者の症状を健康、プレフレイル、フレイルに分類し、個別プログラムを作成するテーラーメイドシステム、顔認証で日々の状態を記録する予防・見守りシステムなど、7つのターゲットを設定し、身体的、精神的、社会的側面からフレイルに対応しています。

本卓話で、これらのターゲットの中で、主に仮想書道システムとメタバースによる歩行支援システムを取り上げて説明しました。仮想書道システムは、触覚デバイスを用いて利用者が実際に筆で書いているかのような感覚を再現し、筆圧や接触ランプによる視覚的フィードバック、スコア付けを通じて上肢機能の検査やリハビリ、さらには書道技術の向上を支援します。メタバースによる歩行支援システムでは、ウェアラブルセンサと360度カメラ、CGを組み合わせた仮想公園内で安全に歩行訓練が行える仕組みを提供します。花の香りや小鳥のさえずりといった多感覚フィードバックにより、実際の散歩に近い体験が可能となり、またアバターを介した交流で社会的孤立の解消にも寄与します。

今後は、各システムのユーザビリティ調査や実証実験を通じ、技術の向上と実用化を進め、高齢者が楽しみながら自分に合ったペースでリハビリや訓練に取り組める環境が整備され、エイジフリー社会の実現に貢献したいと考えています。

月	日	今後の例会予定
2	7	港友例会 17F「コスモス」
	14	休会
	21	例会変更 西名古屋分区 IM 2/20(木) 名古屋観光ホテル
	28	卓話 16F「アイリス」 名古屋大学大学院 医療系研究科 宮田 一志様
3	7	港友例会 17F「コスモス」
	14	例会変更 熊本家族旅行会 3/14-15
	21	休会
	28	卓話 17F「コスモス」 元メーテレアナウンス部 部長 浅沼 道郎様
4	4	港友例会 17F「コスモス」
	11	例会変更 (Partner's Night) 創立 59 周年記念例会 TIAD (中区栄 5-15-19 矢場町駅 1 番出口より徒歩 1 分)
	18	卓話 17F「コスモス」 アクセプト・インターナショナル 小松 史郁様
	25	地区研修協議会報告 17F「コスモス」